

## 令和7年度第1回 持続可能な財政運営専門部会 質疑応答要旨のポイント

分野	質問者	回答者
・性質別決算	【委員】 人件費が引きあがっている理由は。定年延長による影響か。	【市】 基金を積み立てるなど平準化している。 また、令和6年度の給与改定による増、会計年度任用職員に関し、今までは、期末手当だけであったが、勤勉手当も支給されたためである。
	【委員】 扶助費の推移と今後の見込は。	【市】 障害福祉サービスや私立認定こども園等への給付費は各9億円増加している。今後も増加傾向は続くと見込んでいる。
・財政指標について	【委員】 令和6年度決算において一般会計では黒字だが、財政調整基金が積立できなかった理由は。	【市】 令和5年度の繰越金は、令和6年度の補正予算の財源として活用した。
	【委員】意見 令和5年度と令和6年度の実質収支の状況を見ると、柔軟な財政運営のために一定額を確保しているものと推測する。	
	【委員】 財政調整基金の積立が出来なかった理由である人件費や扶助費の増加は継続する可能性が高く、今後の積立が危ぶまれる。	【市】 補正予算の執行状況等を見ながらできるだけこの目標に向けて対応していきたい。
	【委員】 アリーナに対応するだけの予算的体力があるのか	【市】 アリーナについては国の負担も含め40億から50億円規模と見込んでいる。国の交付金を確保するなど財政負担を軽減した上で、進めていきたい。
	【委員】 金利上昇の見込は。	【市】 借入済の分については固定金利のため影響はないが、新規借入や借換債への影響を見極めていきたい。
・取組成果について	【委員】 八潮市の下水道事故を受けた対応について、一般会計への影響は。	【市】 現時点で一般会計への影響は見込んでいない。
	【委員】意見 標準化システムについては、費用の上振れが懸念されるが、今後の見込は。	【市】 情報システムの標準化について、サーバー機器の高騰や人件費の上昇など経費はかなり高くなっている。 ただし、初期投資に関しては、基本的には国費で面倒を見ると聞いている。今後の運営経費などは、市の負担となってくるが、できるだけ効率的な取り組みを進めていくことで、経費の節減につながればと考えている。

	<p>【部会長】</p> <p>一人当たりの時間外の状況は</p>	<p>【市】</p> <p>横ばいである。計画上の令和11年度100時間に向けて取り組みたい。(R5:130 R6:125)</p>
	<p>【委員】</p> <p>競輪場の改修の状況や基金の積立状況は。</p>	<p>【市】</p> <p>競輪特別会計で改修のための基金を積み立てるなど対応している。</p>
	<p>【委員】</p> <p>財政は国の動向が非常に大切かと思う。ガソリンの暫定税率廃止などの話もでていし、市町村にはなかなか補助金も入ってこない。特に除雪費などは、国や県に対する財源措置を要望すべきではないか。</p>	<p>【市】</p> <p>暫定税率については、国の動向を注視していきたい。</p> <p>また、除雪費については、国への要望を引き続きしっかり行っていきたい。</p>
	<p>【副部会長】</p> <p>施設の解体が進めば、空き地が増える。土地の利活用の予定は。</p>	<p>【市】</p> <p>施設解体後の土地については、個々の状況によるが土地の売却のほか将来の行政需要なども踏まえて検討を進めていく。</p>